

オプション連結ユニット

(自在移動回転台車・樹脂パレット台車用)

Connect Unit

取扱説明書

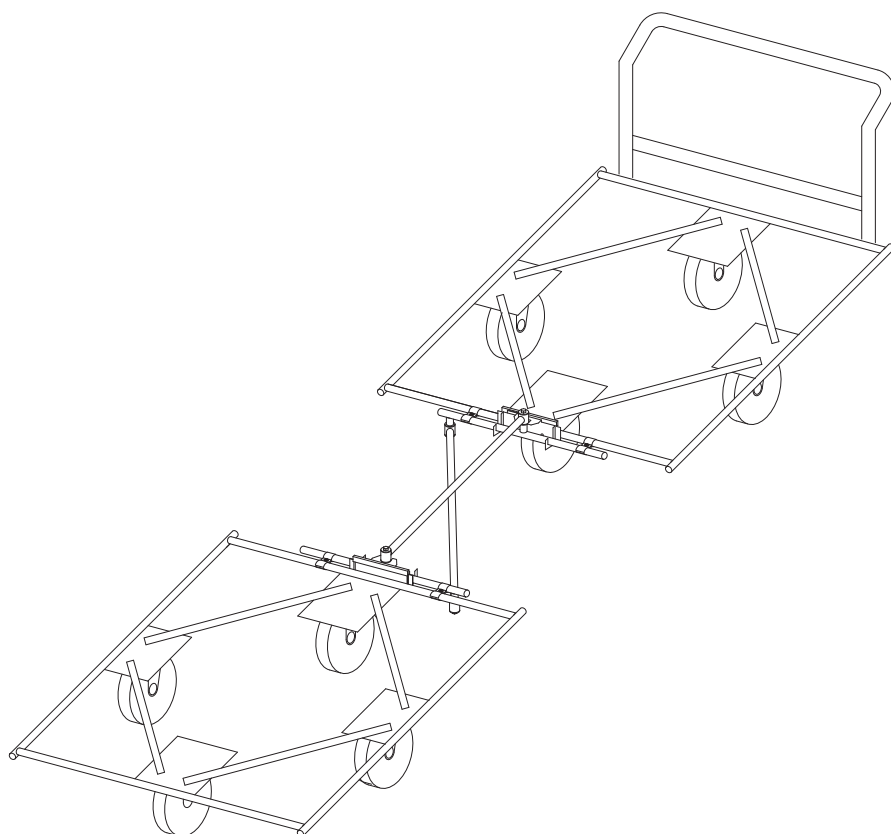
この度はサカエ製品をお買い上げくださいますありがとうございます。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。

組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101

△安全上のご注意

1. 製品の等分布耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は
合計最大荷重 200kg／連
台車1台につき 100kg／台
2. 本製品は運搬台車であって、人を乗せる台車ではありません。転倒や転落事故の原因となりますので絶対に人は乗らないで下さい。
3. 台車3台を2連結しないで下さい。操作の制御が出来ない為、大変危険ですのでおやめ下さい。
4. 連結した台車をリフトなどで牽引しないで下さい。
大きな力や連続した走行によりキャスターやその他部品が破損し、台車が傾いたり本体が曲がったりして事故を招くおそれがあります。大変危険ですのでおやめ下さい。
5. ユニットを組付けする方向次第で左右で旋回角度が異なります。
予め旋回角度を把握した上で走行・操作して下さい。
また、激しく旋回するとユニットが変形し、転倒する恐れがありますのでおやめ下さい。
6. 移動時は、台車が傾かないよう、ゆっくり運ぶ。
荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。
7. 本製品に物を掛けしないで下さい。ユニット部材に物を掛けると動作時に挟まれ、物が壊れる恐れがあります。
又、本製品の変形・破損の原因となり、強いては事故の原因となりますので、絶対に物を掛けしないで下さい。
8. 使用中にネジやパーツのゆるみによるガタツキが生じた場合は、締め直して下さい。緩んだままで使用しますと、変形や事故の原因となります。
9. 製品の分解・改造や部品を外したり、外したままで使用しないで下さい。
10. 転倒防止の為、重い物は下段に置いて下さい。
11. 変形・破損したまま使用しない。転倒・落下により、怪我をする恐れがあります。
12. 可動部の隙間に絶対に指を入れないで下さい。指を挟む恐れがあります。
13. この製品で荷積み、荷降ろしの作業をする時は必ずキャスターのストッパーをロックして下さい。ロックしないで作業を行うと、反動で台車が動く恐れがあります。
14. 傾斜地では使用しないで下さい。台車が暴走して転倒したり、人や物に当たり、怪我や破損する恐れがあります。
15. 荷物を高く積み上げた状態で使用しないで下さい。
荷物が倒れる恐れがあります。
16. 凹凸の激しい通路での使用は避けて下さい。変形や事故の原因となります。
17. 運搬物が台車よりはみ出した状態で使用しないで下さい。落下等の事故の原因となります。
18. 樹脂パレット等を積載される際は必ずサイドプレートをセットして使用して下さい。落下等の事故の原因と

なります。

19. 本製品は運搬車であって、荷置台ではありません。
長時間荷物を置いたままにされるとキャスターの故障の原因となり、強いては事故の原因となりますので、運搬後は必ず荷物を降ろして下さい。
19. 高温になった物を載せたり、火気の近くに置かない。
やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。
20. 子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。製品に触れて倒れたりして、怪我をする恐れがあります。又、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指を怪我する恐れもあります。
21. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡しください。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内又は屋内用です。屋外や水のかかる所では故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たる所や温度・湿度の著しい所での使用は避けてください。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等高温になった器具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形、事故や火災の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと、表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いた柔らかい布でふき取ってください。
5. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部に異常音（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談ください。
6. キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり跡形が残る場合があります。
7. 特別な使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8. 製品に不都合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落としてください。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いてください。
3. 乾いた柔らかい布で、水分が残らないようにふき取ってください。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行なってください。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

部 品 明 細

		RS-RBSC
番号	品 名	数 量
①	取付フレーム	2
②	連結フレーム（短パイプ）	1
③	旋回フレーム（長パイプ）	1
④	位置決め金具	2
⑤	ブッシュ	4
⑥	六角ボルト M12×30	4
⑦	バネ座金 M12用	4
⑧	平座金（大） 外径φ35 内径φ13.5	4
⑨	連結金具	4セット
⑩	トラス小ネジ M5×25	4
⑪	六角ナット M5	4
⑫	平座金 M5用	4
⑬	台車（取手・フロアストッパー付）	1
⑭	台車（取手・フロアストッパー無）	1

組み立てる前に

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。

※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

別オプションのフロアストッパーを取付される場合は先に取付して頂きフロアストッパーは取手側のみに取付して下さい。

（取付方法はフロアストッパーに同梱されている取扱説明書を参照して下さい。）

必 要 工 具

スパナ 呼び19

プラスドライバー

スパナ 呼び8

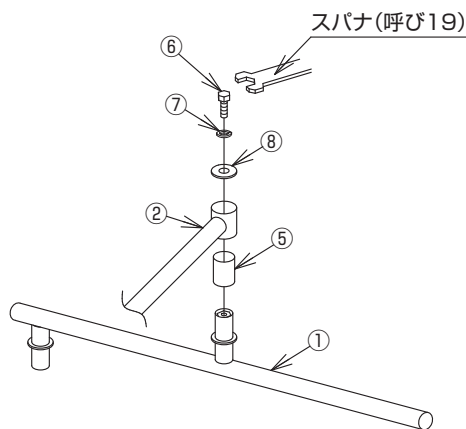
組 立 方 法

取付可能品番：SC・RB(台車2台が異なる場合の取付は不可)

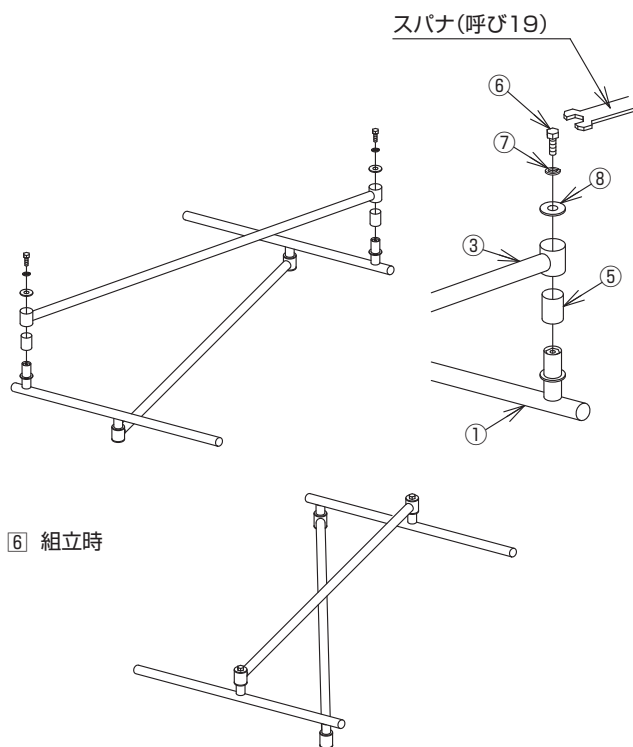
- ① 本製品を組立する際は天面の物が片付いた作業台の上で行って下さい。
- ② ユニットの組立する為①取付フレーム中央部の軸に⑤ブッシュを差込んだ後、②連結フレームを奥まで差込みします。
- ③ ⑥六角ボルトに⑦バネ座金、⑧平座金の順で差込み、①取付フレームのナット部に奥までスパナ(呼び19)でねじ込み固定します。これを反対側も同様に行います。

- ④ 続いて③で組立したユニットを上下ひっくり返します。
- ⑤ ①取付フレーム端部の軸に⑤ブッシュを差込んだ後、③旋回フレームを奥まで差込みします。
- ⑥ その後は③と同様にスパナ(呼び19)でねじ込み、固定します。反対側も同様に行い、ユニットを上下ひっくり返し、組立完成です。

③ 組立時



⑥ 組立時

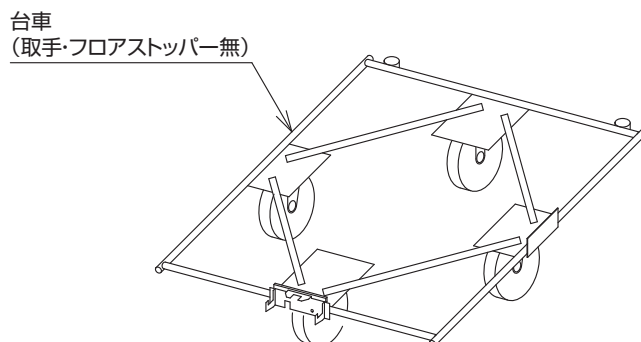
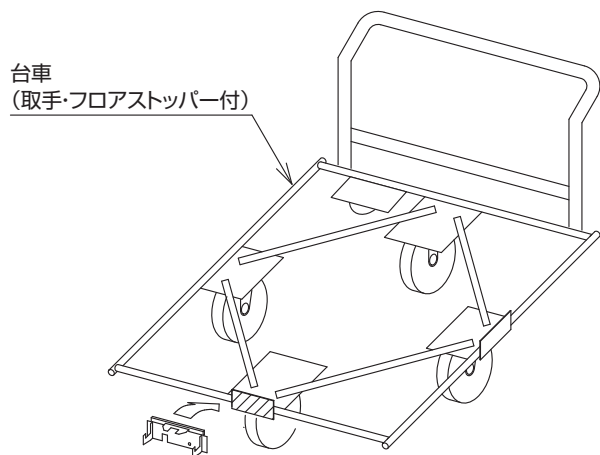


ユニットの組立が終わりましたら、台車への金具取付方法説明に移ります。
樹脂バレット台車(SCタイプ)は3ページ、
自在移動回転台車(RBタイプ)は4ページを参照して下さい。

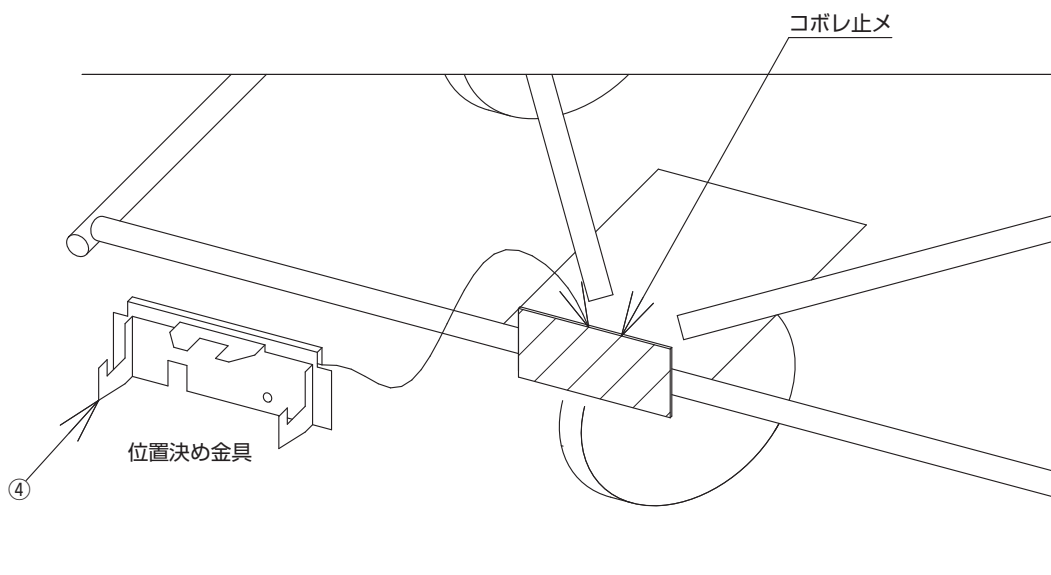
金具取付方法 樹脂パレット台車(SCタイプ)の場合

- ⑦ 本製品を台車に取付する際は平坦な床の上で行って下さい。
- ⑧ 取付する台車(取手・フロアストッパー付)を1台用意し、④位置決め金具の引掛部を台車コボレ止め上部に引掛けます。

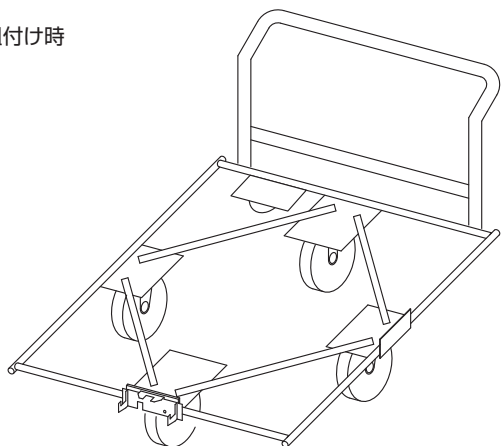
- ⑨ 連結するもう1台の台車(取手・フロアストッパー無)を用意して⑧と同様に④位置決め金具を取付します。(取手付の台車2台を連結する事はお止め頂き、どちらかの取手を台車から外し、取手付1台と取手無1台の組合せで連結して下さい。)



金具の取付が終わりましたら、台車へのユニット取付方法説明に移ります。
5ページの⑫を参照して下さい。

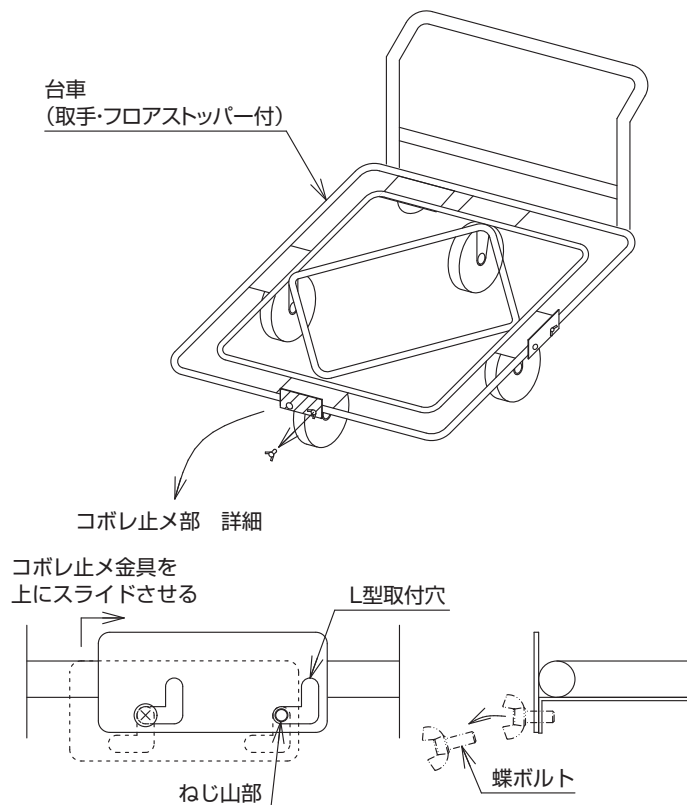


- ⑧ 組付け時

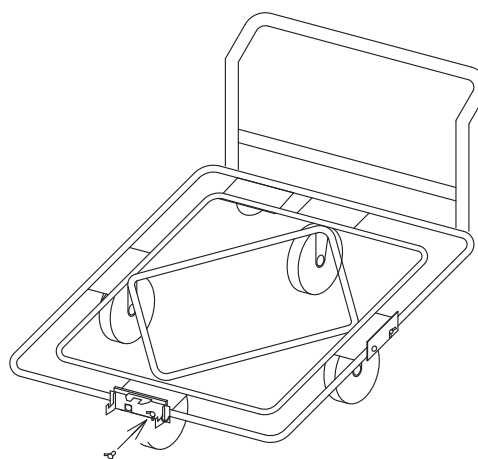
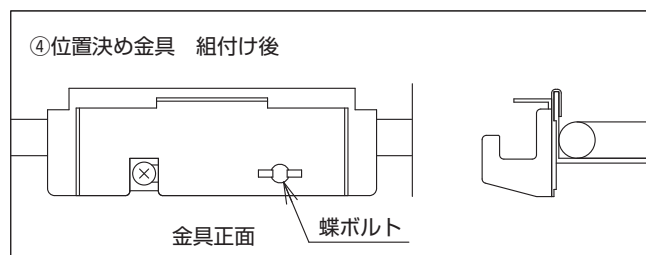


金具 取付方法 自在移動回転台車(RBタイプ)の場合

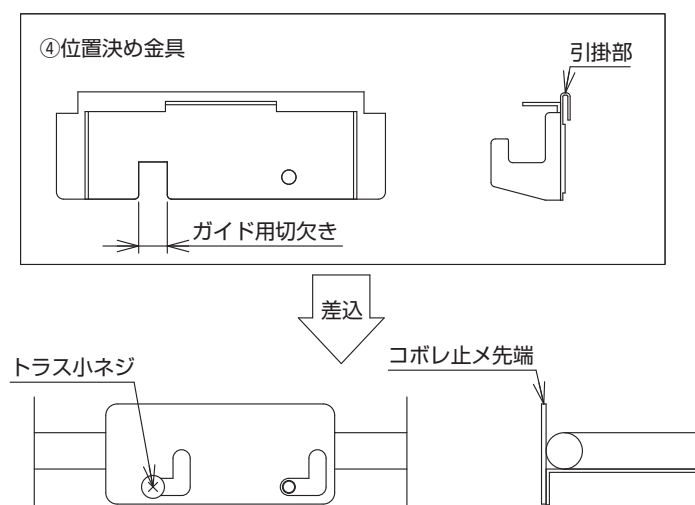
- ⑦ 本製品を台車に取付する際は平坦な床の上で行って下さい。
- ⑧ 取付する台車(取手・フロアストッパー付)を1台用意し、台車側コボレ止メ金具の蝶ボルトを外し、コボレ止メ金具を上スライドさせて金具のL型取付穴を下図の様にねじ山突起部に引掛けます。



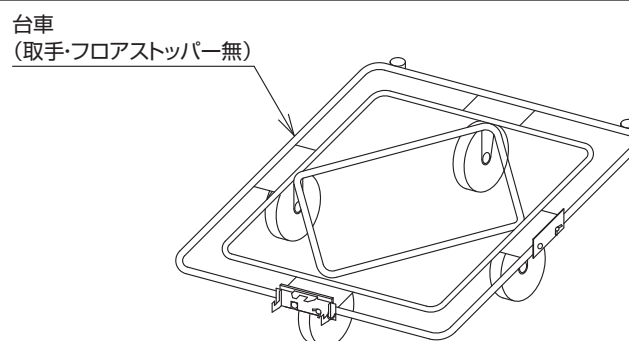
- ⑩ 台車側コボレ止メ金具のねじ山部に⑧で外した蝶ボルトを再度ねじ込み、④位置決め金具を固定します。



- ⑨ ④位置決め金具のガイド用切欠きをコボレ止メ金具のトラス小ネジに合う様に差込み、引掛け部でコボレ止メ先端を引掛けます。



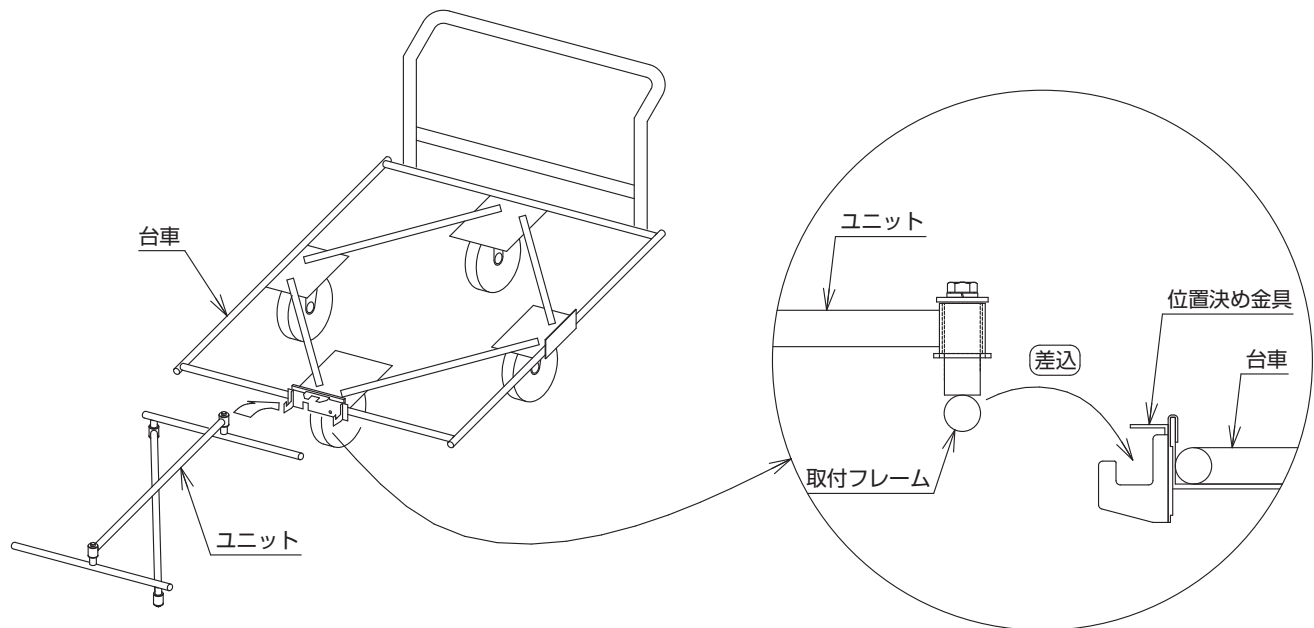
- ⑪ 連結するもう1台の台車(取手・フロアストッパー無)を用意して⑧⑨⑩と同様に④位置決め金具を取付します。(取手付の台車2台を連結する事はお止め頂き、どちらかの取手を台車から外し、取手付1台と取手無1台の組合せで連結して下さい。)



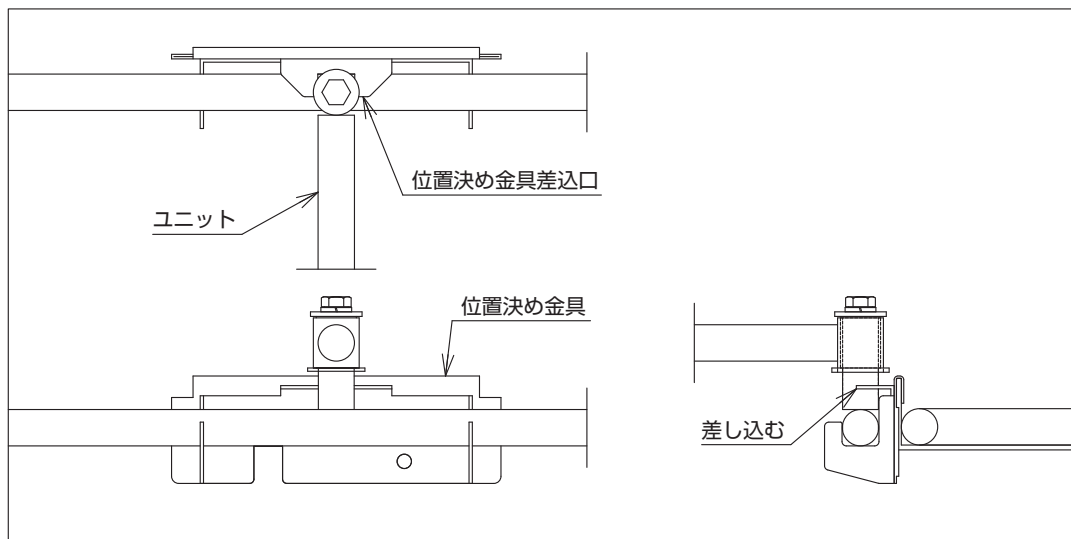
金具の取付が終わりましたら、台車へのユニット取付方法説明に移ります。
5ページの⑫を参照して下さい。

ユニット取付方法 (SCタイプ RBタイプ 共通)

- 12 ⑥で組立したユニットの取付フレーム部を下図参照し台車に取付した金具へ差込みます。
その際ユニット中央部の軸を位置決め金具中央部の差込み口へ入れ込み、ユニットが左右にズレないようにします。



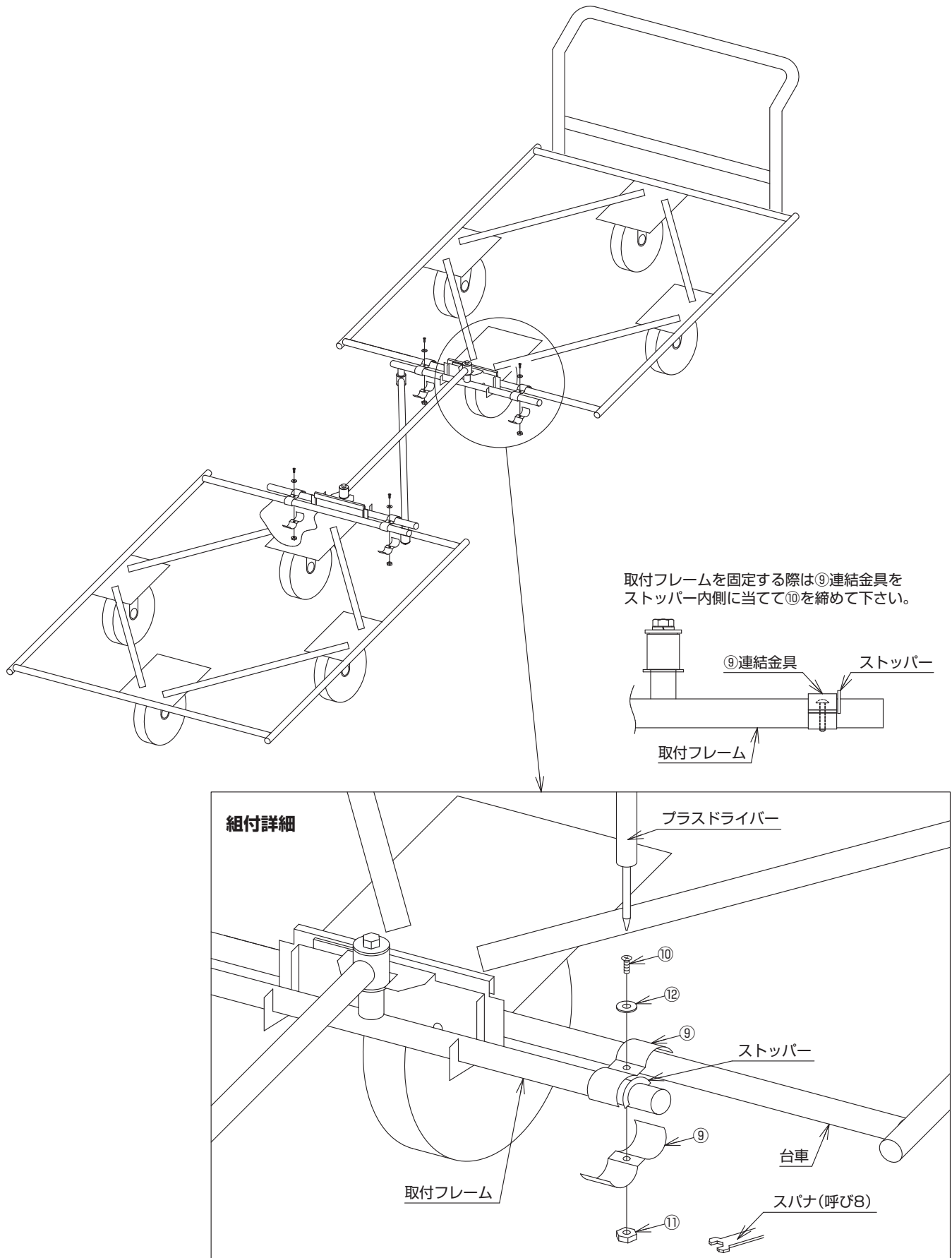
取付後フレーム詳細



- 13 もう一台の台車も12と同様に金具へユニットを差込みます。

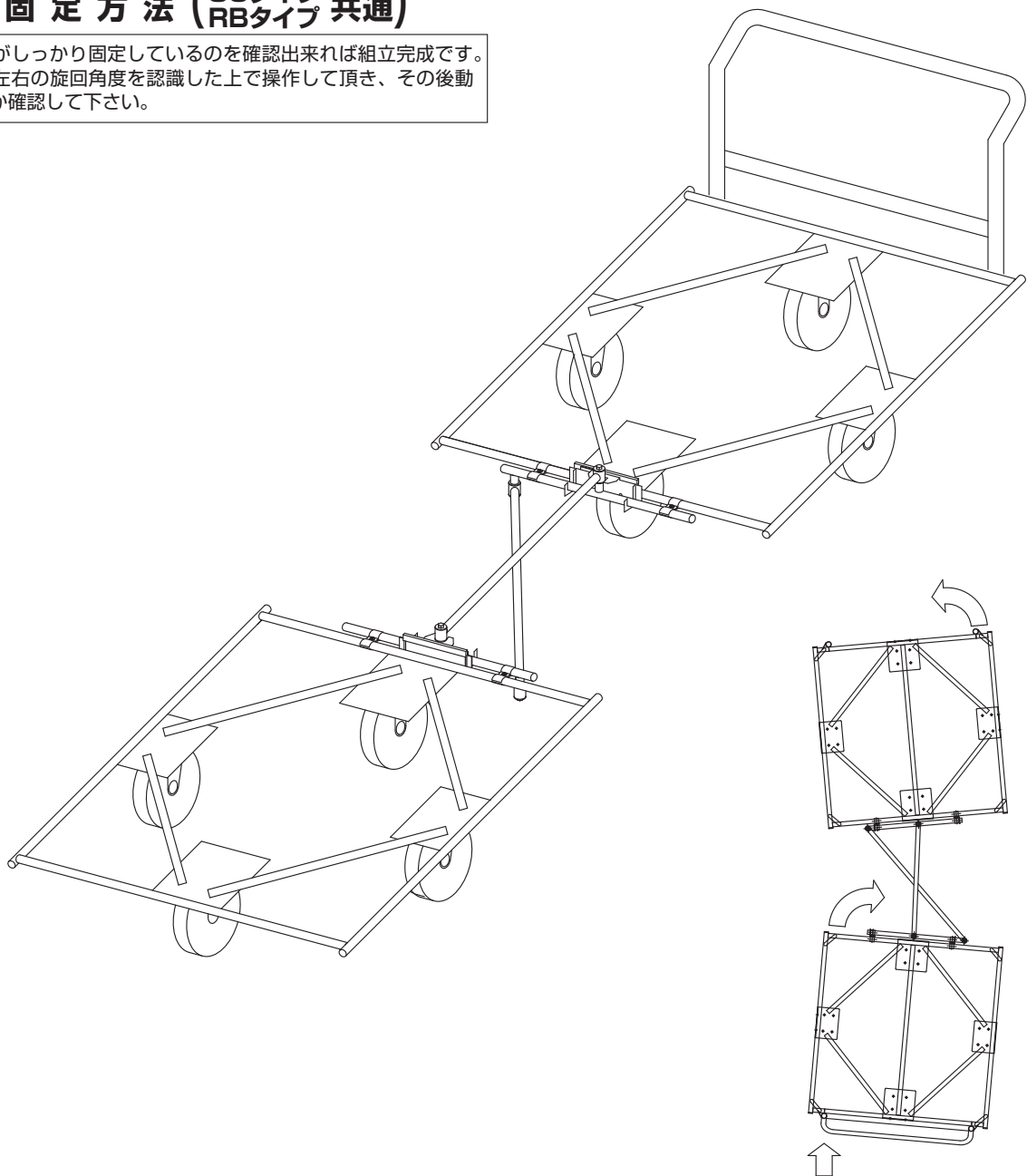
ユニット固定方法 (SCタイプ RBタイプ 共通)

- 14 下図を参照しながら、取付ユニットと台車に⑨連結金具⑩トラス小ネジ⑪六角ナット⑫平座金を4ヶ所プラスドライバーとスパナ(呼び8)で締め付けて固定します。



ユニット固定方法 (SCタイプ RBタイプ 共通)

- 14 台車とユニットがしっかり固定しているのを確認出来れば組立完成です。
下図を参照して左右の旋回角度を認識した上で操作して頂き、その後動作に異常が無いが確認して下さい。



手押する台車を右に旋回すると連結した台車は左に旋回します。

左右で旋回角度が異なります。
(ユニットを左右反対に組立すると左右の角度が反対になります。)

